

英語コーパス学会 Newsletter No. 99

Mar. 16, 2026

■会長: 田畑 智司
■事務局: 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学言語教育センター 小島ますみ研究室
■郵便振替口座: 009303-195373 (英語コーパス学会)
■URL: <https://jaecs.com/> ■e-mail: jaecs.hq@gmail.com

JAECS
Japan Association for English Corpus Studies

NL99 号 目次

英語コーパス学会第 51 回大会報告	1
2025 年度秋季総会報告	3
役員会報告	3
2026 年度行事予定	4
事務局からの報告	4
会費納入のお願い	4
会員情報更新のお願い	5
新入会員紹介	5
FORUM	6

英語コーパス学会第 51 回大会報告

英語コーパス学会第 51 回大会は 2025 年 9 月 2 日(火)と 9 月 3 日(水)の 2 日間にわたり大阪大学箕面キャンパス(外国語学部・大学院人文学研究科外国学専攻)にて開催されました。大会では、初日の午前に行われたワークショップを皮切りに、研究発表セッション、シンポジウム、そして基調講演と充実したプログラムを実施することができました。2 日間を通して一般会員 63 名、学生会員 32 名、賛助会員 2 社(3 名)、さらに当日会員 24 名を合わせ 122 名の方々にご参加いただきました。以下にその概要を報告いたします。

■ ワークショップ

本大会では開催校である大阪大学の今尾康裕先生、そして 2024 年に同大学大学院言語文化研究科博士後期課程を修了した藤田郁先生(九州大学)によるワークショップ「CasualConc で始めるトピックモデリング入門」が実施されました。トピックモデリングは、共起情報をもとにコーパス内の語を分

類し、意味的な関連性のある単語群にまとめる統計手法です。事前の学習データや辞書を必要とせず、「意味」にアプローチできる点が大きな特徴であり、コーパス言語学の地平を広げる手法としてどのような可能性を持っているか、今尾先生ご自身の開発によるコーパス分析総合ツール CasualConc を用いたハンズオンと講義を組み合わせられた解説をしていただきました。

■ シンポジウム

機械学習(深層学習)に基づく大規模言語モデルおよびそれを応用した生成 AI の急速な発展には目を見張るものがあり、全ての学術領域に地殻変動をもたらしています。コーパス言語学も例に漏れず、その研究・教育のあり方をめぐって大規模な再考・再定義が必要な状況に直面しています。そこで、本シンポジウムでは、生成 AI の利活用における先駆者である水本篤先生(関西大学)、アントニ・ローレンス先生(早稲田大学)、宮川創先生(筑波大学)に「生成 AI 時代のコーパス研究(Corpus Studies in the Age of Generative AI)」というテーマで議論を展開していただきました。生成 AI を活用したコーパス研究の事例や、ツール開発の最前線が紹介されるなど、まさに時宜を得た企画であり、フロアから多くの質問が寄せられ熱のこもったシンポジウムとなりました。

■ 基調講演

講師の横井祥先生(国立国語研究所・東北大学)には、本大会全体に通底するテーマである大規模言語モデル、さらにそれを応用したシステムがどのような仕組みで動いているのか、また大規模言語モデ

ルと人間の「知性」とはどのような点で異なるのかについて、数理的な原理などにふれつつ、人文系の研究者や学生にもわかりやすく論じていただきました。特に、大規模言語モデルの構築に寄与する数理や技術の考察を通して、人間の言語や知性について何がわかり得るのか、そして、何がわかり得ないのかという議論は大いに啓蒙的かつ知的刺激に富む対話となったように思います。

■ 研究発表セッション

厳正な審査を通して採択された 29 件の研究発表が行われました。研究発表のトピックは英語教育学、英文学、英語学、およびメディア研究など関連分野にわたり、会員の最新の研究成果が提示されました。今大会で特徴的だったのは、BERT に代表される言語モデルの利用や、生成 AI、トピックモデリングを活用した知見が披瀝されるなど、ワークショップ、シンポジウム、そして基調講演と共鳴するテーマの研究発表が多かったことです。研究発表セッションは、まさにコーパス研究の現在（いま）を映し出しているという印象を抱きました。

■ 新人優秀発表賞

一般新人優秀発表賞（一般新人賞）に 4 件、学生新人優秀発表賞（学生新人賞）に 11 件の応募がありました。新人優秀発表賞選考委員会（委員長：石井康毅先生、委員：川本渚凡先生、佐竹由帆先生、長加奈子先生、土屋知洋先生、仁科恭徳先生、藤原康弘先生、渡辺拓人先生）による慎重かつ厳正な審査の結果、一般新人賞は蛸嶋亮介氏（千葉県立茂原樟陽高等学校）に、そして学生新人賞は澤口遼氏（関西大学大学院生）、福田航平氏（東京外国語大学大学院生）の 2 名に授賞されました。受賞の各氏に心からお祝い申し上げます。

■ 大会を終えて

移転してまだ 5 年の新しい大阪大学箕面キャンパスで本大会を開催するにあたり、同キャンパスに研究室を構える南澤佑樹先生には使用する施設・懇親会会場の選定や各所への手配などで大変お世話になりました。特記してお礼申し上げます。事務局長

の小島ますみ先生には大会の準備段階から、当日のロジスティックスに至るまで、あらゆる物事に目を配っていただきました。小島先生の緻密な差配と献身的なご尽力なくして円滑な大会運営は不可能でした。あらためて深くお礼申し上げます。同じく事務局会計担当の八野幸子先生と石井達也先生にも、公私共にご多忙の中、熱意を持って力強く大会を支えていただき心より御礼いたします。大会実行委員の今尾康裕先生、菅原裕輝先生、鈴木大介先生、森下裕三先生にも多大なお骨折りいただき、万全の体制で大会を迎えることができたこと、大変ありがたく感謝申し上げます。ワークショップの TA を務めてくれた 3 名の本学大学院生、アルバイトを引き受けてくれた 5 名の学生のみなさんの若さあふれる機敏なサポートが大会運営の大きな原動力となりました。大いに感謝しています。そして何より、会場に足を運んでくださった全ての皆様との対話が、本大会最大の収穫でした。ありがとうございました。次回、第 52 回大会は北九州市立大学（北方キャンパス）にて開催の予定です。木山直毅先生（北九州市立大学・大会実行委員長）はじめ、大会実行委員会の方々が鋭意準備を進めていらっしゃいます。また来年、北九州の地で会員の皆様と再会できることを切に願っております。

■ 関連 URL

大会ウェブサイト

https://jaecs.com/conference_51/

大会プログラム

https://jaecs.com/conference_51/program

大会資料

https://jaecs.com/conference_51/document

大会予稿集

https://jaecs.com/conference_51/proceedings

大会実行委員

田畑智司、今尾康裕、菅原裕輝、鈴木大介、南澤佑樹（以上、大阪大学）、小島ますみ（名古屋大学）、森下裕三（桃山学院大学）

（大会実行委員長 田畑智司）

2025 年度秋季総会報告

2025 年度秋季会員総会が、第 51 回大会初日の 2025 年 9 月 2 日（火）に大阪大学箕面キャンパスにて開催されました。審議事項として、会則の改正（表記統一及び「齊藤賞」等の加筆、副会長・事務局員・学会誌編集委員会委員長及び委員・学会賞選考委員会委員長及び委員の 2 期を超える再任を妨げない旨の改正）が示され、承認されました。また、以下の報告が行われました。

■ 2025 年度会員動静（2025 年 4 月 1 日～8 月 31 日）

会員数 345 名、入会者数 14 名、退会・除籍者数 7 名。会費納入状況は 8 月 15 日時点で 77.4 %でした。

■ 2026 年度執行部人事について

会長：石井康毅氏（成城大学）

副会長：和泉絵美氏・内田諭氏（研究促進担当）、水本篤氏（学会誌担当）、森下裕三氏（総務担当）

■ 規程の改正について

新人優秀発表賞規程について、審査委員長を除く審査委員を会員の中から任命する旨の改正が行われました。また、学会誌編集委員会規程、学会賞選考委員会規程、大会実行委員会規程について、会則の改正に合わせて文言の修正が行われました。

■ 2026 年度春季研究会について

テーマ：「言語統計学への誘い」

日時：2026 年 6 月 6 日（土）午後

会場：青山学院大学青山キャンパス

講師：山田彬亮氏（慶應義塾大学）

詳細は、2026 年度行事予定をご参照ください。

■ 第 52 回大会について

北九州市立大学の木山直毅氏が実行委員長に選任されました。詳細は、第 52 回大会・総会をご覧ください。

■ 2025 年度学会褒賞について

1. 学会賞：水本篤氏（関西大学）に授与しました。

対象業績は、以下でした。

Mizumoto, Atsushi. *Identifying ChatGPT-generated texts in EFL students' writing: Through comparative analysis of linguistic fingerprints*. *Applied Corpus Linguistics*, 4, 100106, 2024 年 9 月. <https://doi.org/10.1016/j.acorp.2024.100106>

ほか 2 件の業績

2. 齊藤賞（2 件）：内田諭氏（九州大学）、家入葉子氏（京都大学）に授与しました。対象業績は、以下でした。

内田諭氏の業績

Uchida, Satoru. *Using early LLMs for corpus linguistics: Examining ChatGPT's potential and limitations*. *Applied Corpus Linguistics*, 4(1), 100089, 2024 年 2 月. <https://doi.org/10.1016/j.acorp.2024.100089>

ほか 2 件の業績

家入葉子氏の業績

Iyeiri, Yoko. *Benjamin Franklin's English: Form to Function Analyses*. Routledge, 2025 年 1 月.

3. 奨励賞：神原一帆氏（国立研究開発法人 情報通信研究機構）に授与しました。対象業績は、以下でした。

Kambara, Kazuho, Hajime Nozawa, and Takeshi Takahashi. *Differentiating valence patterns: A quantitative analysis based on formal and semantic attributes*. *Constructions* 15(2), 2023 年 12 月. <https://doi.org/10.24338/cons-571>

ほか 15 件の業績

役員会報告

2025 年 9 月 1 日（月）に大阪大学豊中キャンパスにて秋季役員会を開催しました。承認された事項について、秋季会員総会で報告しました。上記の「2025 年度秋季総会報告」をご参照ください。

2026 年度行事予定

2026 年度の春季研究会、大会、総会は下記のとおり予定されています（※会場の都合等により変更の可能性があります。学会のウェブサイトで最新の情報をご確認ください。）

■ 2026 年度春季研究会

「言語統計学への誘い」（講演＋ワークショップ）

日時： 2026 年 6 月 6 日（土）午後

会場： 青山学院大学（青山キャンパス）

講師： 山田彬亮氏（慶應大学）

第一部

演題：ポワソン回帰の基礎

概要：哲学ではパラドックスから、言語学ではミニマルペアから研究が始まると言われる。ペアが作られるなら、どんなときに、どちらが使用されるのかを調べたい。そこでロジスティック回帰を使うという「定石」がコーパス言語学では形成されてきた。だがペアを形成していない構文にも統計的アプローチは可能である。ポワソン回帰である。ところが、このモデルはコーパス言語学では有用さとは裏腹にあまり浸透していない。そこで、参加者の研究への応用を視野に、基礎からこのモデルの特徴を紹介する。

第二部

演題：R を使ったポワソン回帰の分析

概要：前半では、コーパスを用いた実データをもとに講演で説明されたポワソン回帰を用いて分析するための R の実装をハンズオン形式で紹介する。後半では、その結果の解釈について参加者をグループに分け、議論をしながら、実践的なデータ分析を学ぶ。なお、参加者が、自分のパソコンに R をすでにインストールし、また、ある程度使用したことがあることを前提に進めるので、未経験の方は自ら知識を補った上で参加されたい。

■ 第 52 回大会・総会

時期： 2026 年 9 月 1 日（火）・9 月 2 日（水）

会場： 北九州市立大学（北方キャンパス）

木山直毅氏（北九州市立大学）（委員長）

植田正暢氏（北九州市立大学）

内田諭氏（九州大学）

田中悠介氏（熊本学園大学）

長加奈子氏（福岡大学）

藤田郁氏（九州大学）

森下裕三氏（桃山学院大学）

事務局からの報告

会費納入のお願い

会員の皆様には、日頃より会費の当該年度内納入にご協力をいただきまして、お礼申し上げます。

2025 年度会費（一般 5,000 円、学生 2,000 円）の納入がお済みでない場合はお早めにお納めいただきますよう、ご協力をお願いいたします。銀行窓口・郵便局窓口・オンライン振込のうち、ご都合のよい方法で年会費をご送金ください。なお、2021 年度以降、学会誌については原則として電子版のみとなりました。従前どおり、学会誌の印刷版の送付を希望される方は、会費支払い時に 1,000 円を加えてご送金ください。

郵便局からの場合

ゆうちょ銀行

口座番号 00930-3-195373

名義 英語コーパス学会

銀行からの場合

ゆうちょ銀行（コード 9900）

種別 当座

店名 ○九九店（ゼロキユウキユウ店）（支店番号：099）

口座番号 0195373

名義 英語コーパス学会

会費納入に際しましては、次の点にご注意ください。

1. 過年度会費を未納の場合は、2025 年度分と合算してお納めください。（※ 2024 年度の

未納がある場合に1年分のみを送金されますと、「2024年度分」として充当されます。）

- 請求書・領収書は原則として発行しませんので、振込控えを領収書としてご利用ください。大学等において、請求書 and/or 領収書が必要となる場合は、事務局会計担当 (jaecs.acc@gmail.com) までご連絡ください。
- 払い込み者が特定できるよう、窓口振込・オンライン振込とも、会員姓名とご所属の両方を明記ください（記入例1：コーパスハナコ、コーパスダイガク 記入例2：コーパス花子（コーパス大学））。
- 大学等に年会費振込を依頼した場合、払込者が大学名となり、どなたの会費か特定できないケースが発生します。大学等に振込を依頼された場合は、必ず、振込後に事務局会計担当 (jaecs.acc@gmail.com) までご一報ください。

会費を滞納されますと、退会時に滞納分をまとめてお支払いいただくといった事態にもなりかねません。会員の皆様におかれましては、円滑な学会運営のためにご協力いただけますようお願い申し上げます。なお、退会を希望される場合は、当該年度内に学会ウェブサイトの「入会・変更届」<http://jaecs.com/join.html> からの手続きをお願い申し上げます。

会員情報更新のお願い

住所、所属、メールアドレスなどに変更のある方は、学会ウェブサイトの「入会・変更届」<https://jaecs.com/join.html> からの手続きをお願い申し上げます。

新入会員紹介

2025年9月1日から2025年2月28日までに入会された方をご紹介します。

猪野 雄希 東京外国語大学 (S)
岩田 千咲 立命館大学 (S)

梅澤 亜美 (S)
大熊 莉歩 東京外国語大学 (S)
荻野 真友子
小熊 耕太 東京外国語大学 (S)
鬼塚 泰祐 東京外国語大学 (S)
小畑 勇真 (S)
小林 昌博 鳥取大学
阪上 菜央 (S)
佐藤 勇太 大阪大学 (S)
澤野 亜美 静岡大学
平良 華凜 東京外国語大学 (S)
田儀 勇樹 立命館大学
武元 南緒 京都先端科学大学
東郷 航大 大阪大学 (S)
鳴海 京佑 (S)
沼澤 萌由佳 東京外国語大学 (S)
針貝 奎輝ソフィアン (S)
本間 咲妃 東京外国語大学 (S)
松岡 翼
松山 美歩 (S)
村瀬 弘志 大阪大学 (S)
本安 和樹 (S)
Andrew Blaker 関西学院大学
Poolthongkam Ngoentra 東京外国語大学 (S)
Trevor Matthew Sitler 関西大学 (S)
(五十音・アルファベット順, 敬称略。)

FORUM

今号の FORUM は休載です。

FORUM の原稿募集中！

英語コーパス学会 Newsletter では会員の皆様からの FORUM への投稿を募集しています。国際学会報告、研究会の紹介、新刊紹介など、会員の皆様の情報交換の場として FORUM が活用されることを願っております。また、自著の紹介も歓迎いたします。以下、詳細を記します。掲載の可否につきましては、事務局で判断させていただきます。

FORUM のテーマ 国際学会報告、研究会の紹介、新刊(自著を含む)紹介など英語コーパス学会にとって有益と思われる情報

締め切り 5月末あるいは10月末

分量 最大1600字程度(画像も可です)

送付先 jaecs.hq@gmail.com

2026年3月16日発行

編集・発行 英語コーパス学会
会長 田畑 智司
事務局 〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学言語教育センター
小島ますみ研究室
e-mail: jaecs.hq@gmail.com
URL: <https://jaecs.com/>
